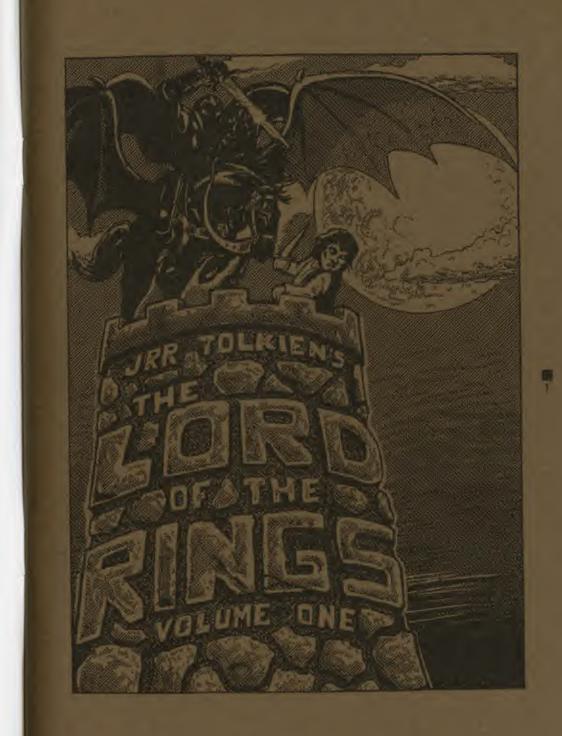


第一巻旅の仲間





TL Art v とことはピットににあったことを考えて含みは多った。含みは色もから、 ンティアの内面にはのかに「空也の外が飛り出め、それから うろすらど来俗を

そういうと、その幻覚はいえた。だが、めまていらながらら、つぶのでのなってす てきた。「ダーヴ・ロードが「原告を教えてくれると思っているだららか」それは、

どうめじょここをもかするだは、ある国の方式が必要さしい。

中の力が強いという。それだけでは広がってくる処理の姿に思く切しまれる。 おいずれのドワークの中に「OL たところで、いつまても#すではあるまい、例に

4

フレチャは夕そから呼吸されたものの、ひどい画を飾った。かれは夜外に起を走

そばだいくつものダイテムが取らばっていた。 人ではきゅのようにこくられ プロドリーブのルーン ズチで与かれた中的が出られていた。そのまわはほかと

5.

- T. 高ふり山原の下に作み而いた時、かれらの中で最も原の見れた無人が変や力た 力を持つ間になるった。ドワープたちはよりの名とちなんでそれをでデュリンの 思した。モリアの所ににとらなって、この意識はデュリンの風のは場にのほらな。 くなった しかし、この各は見い出され、今ではそりアの無山のとこが深くにあ さオーフルの3世でおっているという考りいる。」
- からにあかれたを物在されば読んだ「所用のきむ。モザス・ドワープがていっと こののカザドーデェムは、国話の中国の利用等くにあるドフープの大型時だっ た。その何の性に置しているのは虫おれたエレデオンで、またの者を成りノとい う。何の円をあると、おけるほとロスロリエンの概念の中に出られる。 たきない ほかはるかは如まできし、さらに、かろしい地下の場合へと果く貼られている。 それは支持にミドル・アースに並ぶもののない。例の一つであり、恐怖と知の場 所でもある。川生をこに住むドワーフは一人もいなか、脚場ない問題を呼び生き
- 8. 得なればは住むドケープの代表者が真固した。同の国の関係がはなればのだ。 かにになってきて、サフロンムに執いのほんのさきやかな品。取るにたらない指 mからとにあるか改えるといいました。われらは何ヶ月もそやつを呼呼してお 直ます。しかし、われらはこのmmのことと、常要なさ考がどうしてその作品を それほどにかしているのか知らればなりません。そこで、あなた可の個人会園を まめて、わたしかつかわまけたのです。- 万. 石崎の田の首たらそれも別の一行。 が、白文白り立つの関方のところへ使用として作って利ります。」
- 10. さきのく - が形とえた。ナインのナルシから、乳、北、乳・乳、仁・乳」
- 市皮能にこうさかれていた「塩玉の最大の4.米が何かなものとなったとき、ア ALADET を2つけえて、VILI音の更にあるカルドランは代の子の際に言させた。 をしてJiつHJ000では、何のでアモン・スールの新聞の例に関した。
- 振っている人ののそばの水を付た (Pやにぶら下がっているほど) た事情が、きみ るのを見ることでいただろう。

「このほういいたかに、わしかりかなられにするAD分に、このかにらるそのい であつけたものだ。これはIPUボタのずたちかってかられいであのMの「つて あると、6mmpラッシェトックがなんでくれた。5みたちのか、3とりつかもし れる。

14.

「どうそこはっくいおいまいくだせえまレノメフがおさにかたりおんりをいけ、 いたします。MRCはいかごほえますし、すくxxxののできたしますで、。

W-WAJZA WHUESTON ESISHERED NEURONSEA-

考れのもMITHINIでいった。「人生があけなきらなら」ようによくいほをさせま すで、

15

16.

Proproced こんな可じ可能してなっておく木ピットなんかいない。Procedure たまり、Windows Procedure しんくちゃのたべかではのからこちにおっし ていたことのでから対抗して、ホビットからんでいたとははえない。

17.

中に生にこうさかいていた。中でのかりのは、からかならのとなったとき、アリセメインドアルウェレクトのはいちじんでのしますだが一かは、いれたらののなりを2つられて、エルフのいきではあるで色質によったのでは、ドビっきとと、3つはの配子は、ロケミアセンストルのでものものものもしまっした。

18.

ものおしい可能がはつね人と立っている。この時をはりをロースたちが配てたものだ。ドヴーフのの話にありからなことだからからい。可は何のされてしまったのというなだけはいましたのという。

18.

広いて一手の上に、よった白いいのかにいてはっているのきなられからに流れ さいた。ドアにはロいすで、いるのはち、バーリヤン・ハタバーの心と思いてあった。中のでこかから、他のなどがはまり、たくさんのもしそうなのかぞれて何 おって、にぎやかなど時になった。

20.

一日見たないできょうとするような。グロテスタな地面がドアの周りに知られていたしから、これらの中ではいたらまたったのはオーターではないよっと い思でも思わらいこれらの単位ははなったのだ。

21.

(金みたちか)終しまなでいるもの(数は語りまで何せ)

22.

を使いまこう自由はていた。関手のようの関係が関わなものとなったとう。アルセタインまでもヴェレク 1 世はよいらばん 作の思子でモナールに、「折れたるい」のはどを2つ与えて、イムラドリスのエルフの原理地域の近くにある情報がよいの。 山地の「風の市に向きせた 3つじの間には、日外でアモン・ネールのですの際によして、

23.

さんたらか四回に近づくと、どんよりしたはつきの、下色のもじゃもしゃ面の、 あたいを生むとたのか。たいれた。されのかのにはついた。あんたたち、やつらか かかしゃわえな。といくちゃくちゃしゃべわせのた。わからは、おいらにはたむ いち、アップルドアってんだ。またぜではまがあってたんだよ。ファーニーの やつがいったのき、からの信をここにかってこいってき、やつらか大会を担う たろうってね、あんたたち、ここのもある声のだきたのかから、オープ集のやつ も、かかの中でもののものを思いてきまこだ。そこにゃ、たまけた値があるか かあるんだ、オープ組の中つらには、それかわかるのさい

「キウムは、グリムボシュの国際にはをおんて、そのことを全で加ってるんだ。そのにとき、関係が明してある人だ。ほんとだっ、明はまぐしたでごいる。明はま 即に囲を限しつけて、「後き」ろうかだながら呼んだ。「もちろん、あんだだらが おいらを自由にしてくしたら、そのものをさせてやれるんだけどよ。」

24.

よそからまたべきなしかいわした(キンス氏のことをたずれた。おしばをいつ に、とっとさせらんとせるしかけるそといってやった。すると、そいつはしゅっ しゅっというような食を思した。あればをつったったかもしれる。それから、や つはおしめがけて、そのかきな所にお印を入れなった。わしばするものところで 所りのいた。そのあといるではかれを見つけた人だか。せかればいったいほかは こったものやら、言い師を呼じにほくつもりだったが、せかれを保して行くの もなお、そこであ人たが、世界で行って他の間を遅れまてくれんかはで、そう点 くはないに、わしはとてもりのたんだ、せがればまた日を見ましていないのだよ。

25.

「食を作りにすばなく役(が)する。部門の町(の)終を一つ一つじっとだ人のなから。 かれにさきやいた 「「駅」(株容)」に入るには、二つのむいは多かもまた。

28.

両か自に見えないものだよって所に限けかけられた。前のよう粒エルフ文字が きみたおき取り囲んだ。

自身で目的けした野体体的手によわったままだったか、かれの力能で加えたのは、過ぎによった問言さった。かれば、チーブルの上のこうに行けた制に見をやしながらいった。ここに"折れたる側」がある。デュネタインの三層コンドールと"キルノールの側があ。ユレンディルの展園だったしはアラコルン。とかにおける前体ので何であせ、インルデュアから後世代も考えたエレンディルの後がとなる。日本もの所にわたしはガンダルブの作時間した手には、そしてコクリを捕らえた。この証った1111位生き物から、ビルはは海豚を手に入れたのたられ、わればコクリから、インルデュアの疾病の側が呼ばからビルルの過ぎがまでにある。所聞にきつわる多くのことを断き出した。その心臓こと、インルデュアの側に、であり、インルデュアの場合にあるにある。ここにわたしば、信仰所に作を守り、そのなつとめるとないに決めた。拍っていまかほごわり、わたしの回過をプロなら、どの音をではうとこのかしはまらない。たか、このご覧をなし返げるには、折れたる他、の体われたりを発見し、デルシルをでえれるねばならない。

28.

こみのほから、他とを言うからはいったでものがでからさなっている。と同時 に、所からも何が明れたように、実施がほぐれていくような味がした。

29.

ミトル・アースで個人の打磨はつのが、乗っ自な場所の以た。このアメールのはこそが製造エアで、イルーヴァダールのと問め場合に生命を明さしたでいるのだ。アメールのとの呼ばれてルーヴァダールの打成施であり、エルブがこの性に製造した。ピアノールのとの呼ばてモルゴスに破りされた。ヴァラールの打火の存在で製えられ、アウレによってドラーフのこれティリンに回られたものである。モリアが関の手に陥った時、相互もたりはたとは恐られている。さらに、金色の内容が、人間たちによって無限力氏の何のの間に持ち込まれたといううもある。だりのほのほかはあらならもられていないが、おそらくも特の人のできにしようとしただけないだろう。

30

きみたちの映画に力のあまりの重さに、その何ではうろたえた。から同く自かで 思してきた時、びリエンの開発が明るした。オークまたでは川に乗り込まれ、ド ル・グルア・アに用ったものは一匹もいなかった

31.

「ダーロノ」がするようなエルフの単数性のPMMにPMでかけた。そのままじっとしてア MMでもいけない。しゃべってもだめて、水気の性がりからはしこか一つするされてきた。この間のMM代には、色質素が必要です。これルフのMMでかいった。

35

コロンド

33.

この深い場合は他には、正の上の研究から終れ出いた水が風色の小川になって さらさらと無れていた。それの形には、あいられの主に大きくて高い面の水道が のっていた。そしてその間には何の水平しかおかれていた。

34.

国を含れた門に体むな、切れよった。そして入れ

35.

「出ビットノ、とハタバー氏が明人だっためて、これで使い出すことはどうでし お名かを「山心下」とおっしゃえましたっけ? リのチャ そのろかで何かほかは まなきゃなんなかった人だけ人 ここのとおいったからかったでしょご したと ま、まえる今ませえをおは、また思いつくべえ、イブからなしがなのお称かを用 したします ものには大がこせえますし、すぐものとりはあらしますで。」

「キャート・ノー・ノフィーかれほどなった」とこにいる。もじゃもじゃ足ののろま。 もートロ

とおから、Mithing でいった。「小川があけなさるなら、オブによく世話をは任まって、」

38.

作の個別にあるのうと思いついたギスリを見てレコラスがいった。ドワーフの 見がもっとしかったら、いつ水をもなかったでしょうま。「エルフがもことギ が多かったらっと、ギムリかにえていった。 井つ引つ声わないではっていてく いたでしょうな。」「のあると、 対いタルフがの場合たしなめた。は何でうん ざりするしゅしゃ、わしらに関わることで大いに利は同いまがあるじゃろう。 が、

37.

エルロンドは、年齢で何多なまされた説い目で、頭の何間を受なだ。「周みしなから、百分を見るした。「サウロンは、またの名をアンナタール、吹いはチウレンディル、アルタン、動、最近できる。似いは大型の長さして同られているが、使自身かつてはモルコスの便であった。それゴスは、またの名かメルコールとも、ロウツリアとも、水いは河田とも呼ばれ、ドルーエタインには水いなる間の書きも呼ばれている。一方、アンナタールとも呼ばれるサウロンもやはむ、コンドールでは制のさとして知られている。ボマンティルの川下であり、アナリオンとインルデュアの大であるエレンティルは二つの正面を多いたが、コンドールはそのうち間間に記述する可にあたる。サウロンは、神の間をルレールに周囲の時パラドニティアを置てた。モルドールではスナガとウルク・ハイで関政されらオークのコゴブルンとしても何られることもかいの知识に加いていた。アラブルンの母チスラコルンが、あなた何にもイドールのことを話してくれよう。アラゴルンはまたの名をエルフの行エレンサール、切いはデルコンタール。の頭夫、切いはエステル、切いはソロンギル「他の題」という。、フロドはこうそりを構のドアから抜け出した。

ホールが突め起きしくなった。さ代を前点者の取らた。あたり一mm()の思いた。それから、こんと呼をひかえって、一切のでもられたらだけがでいるのできまれた。

38.

取及が現代がり作品が、Elemのようにかくつき、高は良いを助のようにのか、 さみたらはも個に立ちすく人におればいまではなかった。かつて二つの際代に はって、ミトル・アースでは見られることのなかった性から関係もあった? なかもの! むしが他の場合ではいたうを変ののにつろつかはもともこのか。 便はわしの時間なのだ。 かれはきるたらにおかってしゅっしゃっとなった。 おがま入りつロンはは、おれらのことをおかれになっていなかったようれらは といたが、自動な存在なのた。サウロンでかまめておられるのは提供だけた。の 動をはなるですかれなが他の概念できなけたして、おかはははしてあるで、とう する行わりに何た。 きみは他地を取りだけにして、おかはははしてあるで、とう

80

タフィは下型を作るうと努めなから、一般に行くといった。を進めフレディ・グラブがほうでに描るでは我をしたというのである。例如は各国たちに、例れらを 加い付って、それから交換を見つけて依しいといんだ。

41.

こうは、ガラドリエルとケレボルシのウシトに関しら入りた。されたもははてまま を作られた。15つのアイテムを持って来るまで、本方にはお願いできません。そ のアイテムとは、単の角点、歴史のき句、エラノールの主義、エルフの点、エアレ シティルの周の作です。

42.

今まではいき、っていたセンタルフがこち上がり、形をついて、機能に用事を担 したからいった。/ 投稿が経済が出版された結合地点、それだけで、この小さい人 の無いが配信とってルードには行ちのある場がであるが得れたなると考える力もお ありじゅろう。むしはすっと、ビルボの足つけたを何は、からなっかしきむに征 しかっている一つの経過にもがいないとにらんでおった。じゃかこの意味を、自 の全場もむしらに含らであり無調を知らなかった。なぜなら、むしらの歌はかつ はいだけではないったのだす。

自の会議の無思された。両は使いの中ではも個大な力を削りサルーマンは、対 なら初からと同の状态を探点し、この単位を行うの能を分れたした。そのため、 この分析に干される者を持く思っていなかったのじた。とは、かれば、指数はア ンテェインの小を解れてたにではれ、を見に強い他に関もれるであるうという はれるはべた。むとはエッとかれの言葉を思じておった。

取用にわしば、わか明 1(4の一人、客色の知識ラダガストからら人の使用ズグ 生が簡単に出て、"水ビットに」と呼ばれる土地とハギンズの名前の地ビットを 控していると聞いた。わしは取らにせルーマンの同時をすめた明念をらせた。と いっのも、わしらかトル・グルデュアからがびロンを問い出し、間の目から悪を 取りはくことができたから、サルーマンのなからったからじゃ、なんだる情など これはどの多名かいはなかったのじゃく

(サルーマンはむしを出型えてあざけり、自分を多定なる無路壁()と作んだ。 かれば絶異がどこにあるかまたるといい、自分の味力はつくなら、たちな力を付 ましようといった。わしはかった。そして、サルーマンの本語である無い質、オル サンタのでった人に係じ込められたのじゃ、主義のグワイビンが向けてくれな かったら、わしはいまたにそこにいたじゃろう。

サルーマンは取らなってしまった。などを到けれが助に対して多く信息構えているにせま、ここに指摘を多く回しておくことはできぬし、取におけれてたところで、失われたままですなどにし込むさとなどできぬ。したがって、短期は何期を担信ならぬ、短時が作られた場所、モルドールにある風景の山の火口に飛行込ま程はならめのして、」

43.

まれた所れたちのように、上の向上には代に立っている電台でもの特の際を吹き取けるのたい場が、下来がにヒューヒューうなっていた。その間のほぼ中学には、売台かあることに関かって、そんさいな目がを呼ばらっていた。おそらく、香わかあして見るつもりでことに何かを受したのだろう。ビルボがトロヴルからなった無利は各行場の下に即めた所とよくせている。

84.

かを辿り返し行ち続けるハンマーの音が聞こえる。しばらくすると、明陽の広い エルフかきみたらを見てばこっと思ってた。「わたしはタルドル。 ほたなケレブ リムホールの弟子です。何かは下伝いてきることがありますかと

45.

7つのハンマーの罪で、人用の名を告げてから、彼らの収をいえ。

この報母には、そ人れのいき無いていないまだ。トラスを思い出させた。かつて、ここの報母にはとても可提的にないがあったことだろう。しかし、それれもせずに良いないだけっていたため、生活かせいせい間の知むにしかならないがらくたと作している。原否しい所にかぶをあわって、日の物を目の問か。そープルからとも上かった。とうそし、その例は人なつといった場を行かべていった。自立生ずに、おくつろきくたさい。わたしの頃はもう問いておられるはずです。ハメハー競争人転う人きりょうほど問かされていまでしょうからなしかし、あのかられのこちゃっちゃのにしたしの当所を収える可提があるというのは下きだ。「わたしの当所はライフ・フロガン、このもたちは」とかれはいって、一般も関係を表してもいない。「他になるまた」とかれはいって、一般もしたしの当所はライフ・フロガン、このもたちは」とかれはいって、一切の里の何問で、このののとこを示してもいないにはあるあった。これものは、まそるからしれらのからなと呼ばない。なりによったいるがは、からないたともないますからないであるとはを受った人でいきまわっているがき、一部になりになったが、多くの人はをといんでくれます。そして、わたしはあるにもとまったなりになりにいのです。こののにはんでいる人たちとはって、あるたわには「から、鬼をりに回かいとしてなったもといますようないでなんです。わたしのちゃ、見をりに回かして、こことなったもとしていますようないからない。そのもかからしいないが、同に同じかいとしてなったらことで

48.

ほごりまみれので知から極めか明かられた。"はまの心臓にはくい"の時代に、要なないかれたはかせたの材が、折カルドランとして知られた機能の形態を守っていた。カルドランのためたちが、便士をまれて「風傷性になるうとした相思にほかして暮ら上かったとすのする者もいる。このはは、田野から神生した別のはによって個国性を活めている。コルサドの研究カルテレジは、カルン・デュムのではから満に使いの状態にあるにも出し、オージまたらかモリアの原制から持ってきた金の作用を買い取っていたというのである。カルドランの同様たちは、利比が角が中の中にいるところを捕らえ、そして、海女だと伝えられていた事にのよきはるものになく出訳したという。

48.

「去印の実にをガンタルでかここへ来楽した。あのカンタルフってもはならにでなおしてございますよ。ホビットほから映るしたちを切けてやるようにっておっしゃいました。バタハーがボビットだちをむたしの痛べを感じてくれるだろうからって、それから、ボビットだちによ名を明けば、その人たちだとわからたろうとも。

50.

水の口から一人の別が出てまた。片が高く、何立ちのむった人間で、旅で飾り切れては見えるものの。高いでての本色(原を有ていた。別は、生まれなからすっとものは、できましているかのような地質などに多していたが、にもかかわらず、かなり、しい (いろのを見るとは、しいなどをれも、こんな問題な時代によ、このあたりはエルフかどき回ってももんだよ、エルフか、それど、エルフよりはるかに思いばいられ

明は含みたちの様くるようなMMに思わいて、原生と思るついた。「この先の 使中を守ってわるに供があるわったれなら、それができるよ。予伝ってやうう。」 この知を集の明問に入れるか?

51.

を主は例からアイテムを高み取った。あはノ」 されば何々としてべちゃべら もしゃべった。「中民ってくれてありかとうよど わしがあんたりにやるものを コム・オージヒローに作っていってくれ、あいつにはこれがを高入り得なんし 。 あいつはそうたとはいわんじゃろうがね。

E2.

ささやく声が聞こえた 「オーリンのゲルンから」の。西、西、西、北、西、北、

53.

この問題くて無過しの思いには、本家とは伴高すいの思いかする。からないさな 地路けどルーンできのかまれたらかがになび、さらに、原来の間のかけ好から年 種で吊るされている。 社主の、 女か、 カウンターのいころで乗りとした様子に けだるそうに悔たわって、 かかな他物の思されたフライヤバイブをゆっくり引 き寄せていた。

54.

この理様名明をディジー・ブラウドブットという。各条たちは、街女に何かあったのか、また、まえ声でも同していらわけを到ねた「本のグブィーと外のお友」のフレディ・ブランが他の点で行っ不明になってしまったんです。ああ、男人のらおったち、どうが優に見つかる同に、二人を任し出してくださいませんがイタフィーは人名権権時へ連れていってくたさい。フレディはあの人のおいかのところへ帰しておけてください。

55

■の上につぶれた市場でがあり、サラの下に、大きな声色いを埋を向いてを具有 すくめのMAUMによりったいどうしたというのがはなり、その間が加入だけの たしにドム・ボンバディル・用があったらいってくれ、ドムはおきざなんだか らく

トムが取り始めた。「みんなを出してやれ、何じいさんよ、お何な何を与えている人だ?」お何は目を言ましたらい付ないを、上をおかって、何く知れず、水をおを以て、ホンハティルが感してるんだをす。

多もなく、すべてが子どおりになった。ボンハディルは、キレ商れた川内ごう にある山外の側にもかたちを紹介し、それから紫を用した。

58.

TMMのおはをリアのもの下に関められている。前に触れたをはつまだけが、その もには多れて、間にまではエルキ面りが見ることができる。

57.

「あわる」と、年初いた川の間でから知り度のは当成しなから明らだ。わらわか そなたらの事分をかなえることはできません。そのたんだ名が川のより、別・馬 しめ、川のいに再び合かやって来るなり、それを許してはくれるのです。でも、一 つたけつほかあります。だけらかり、のいオークの不を知るなさい。かれに多い どんぐいを持って行って、みのものことをもねるのです。

58.

エレストルは一見ついて、影響を選んでから無けた「デュリンの一場が行めて あるり山」に使み動いたさる。かれるのいて振も腕の機れた軍人が強かれた力 を持つ収割を強った。ドワーフたちは支配の名にちなんで、それをデェリンの つらはし、ともいけ、ミスリルを見めてカサドニデェム、すなむあモリアの無理 を振った。原施の中を痛しきせるこの値呼は硬かに無力だったが、あまりに軽く 類れ着きたため、質素をも引きまごしていたったらしい。モリアの無に伝きもなって、このつるにしば、デェリンの他の思想にのぼらなくなれました。はっきれ しない時だか、そのつるけしが選挙の人々に報じされたという。。

58_

オークリたら(1のこのからの)いに、な性の(生まがあるたなんで、市が思言できた たらう / そのがはの(MO つけ)はかしも素素ではないが、さみのほとにはほき ついていない。カウンと無理があたこちにからかり、みかぶかかいがものへってに は、はただれかが使った気があり、音をの吸りつはからなない。可能を集むせて いとうすぐる。これと同じくらいのなりは、まつとうかがらも)子なりはにはかて あることだ。(M) (たきまになって)、も大きなおには、(MMの)、ではもはななまで さえばたことのないマーかのいであった。根果な問いが生態のよのいでいって (16、この女ははい)人かのか、たわとも、などかり内によりなよなのが?

80.

のお上がった時天のおは、果然的にも関しておかい。なったように見えた。「それで、あるに対はしたしの思するを多しないのだな。」 そういっとのがはまていれたマントの間につまでいたがっていた。「もっとおに保をうと思えば、ひせたのだか。」 「一つの問題は、すべてをあっ、一つの問題は、すべてをあっ、一つの問題は、すべてをあっ、一つの問題は、すべてをあった。「もっとがある」といる。というに対しているがある。というに対している。これである。これで一つの問題に、まれに対しままこと。そうではは、わかけませつロンのはからったがをかしてこれらだろう。おきたどのはなることで

61.

この内にはいかからっていたるしいが、すいにんのじかはできている

82.

・オータルたらは、カンタルプとバルロタの入らた。 まにじまなれをかけた (***) トボの下には、存にたたらも動きもないがうっすらとかかじまっている。

83.

さみはそのぐりもをほどいて、本物をおけた。本文の()のほとんどかがっしいと いで、10 ボされている。他の名ところはまったとない、同様の文文でを行か同と から味を紹み取ることができた(無道女」と、きょうの目()のみとに置かかれて いた。

84.

大きな何いの様に、内容に何なってごうごうしたオーク型がなっていた。かれの のれたお屋は、かつてはどこかのエルフェのものだったらしいが、下では不明な 何は付かでづなてあられ、ぶらぶら結れては行いにもつれたってじゅるしゃら 同っている

○ことは本目のドリスナック等を、 無限のない関節ないでかれないった。 でおかたらかそのうちここに果るって、おれは知ってたぜ、これも他かってわけた。 おいか助けでやらないかきり、おけたらはモリアから明られた。関係はないで、物質を持ってらたらう。取るにたらんつまらんできた。ほんのちっぱけながないですまた。。

かれは音楽につまったが、またしゃべい時けた。「その物質があしいんだっていっとくれたら、おかだちも色がにここから出してもな。

この古代の他下述の石にから、前側のようなささやき中かやわらかく思いてきた。 「他の事に、かつて強力たる名が受り

minがそのものMinなりで、Minその利用なり

その目は他の保むりまで待つ。

その他の過ぎを尋ねよ。

動機の可能、それ以上ミドル・アースには過ごえてこなかった。

88.

同か目に見えないものによって責任かけられた場のように、ドワープのルーン 文字があみたちを取り囲んでいる。

87.

「8つの顔をどくと考えよ:オータとドリーフが呪ぬのを促進値」いがじっと見ている。一方で、帰って心いた時間を顕がガリカリかじり、自分の曲に送られた人間をトロヴルが食べ、そして、繋が空間く無い上がる。

68.

も人は側の上からアイテムを認み取った。「あはす」も人は何さとしてべちゃべ ちゃしゃべった。「わしかあんた力にやるものをウィラ・ブルームの所に持って ってくれ、あの女にはこれが重ね入り用なんじゃ、彼女はそうだとは「ADんだろうかな。」

68.

配合使いの方面で無限な主要で高いてあったのは、水のようなメッセージだった。 た

2015、保るか場所にて、

赤ビュト網売1418年。14の中日

フロドビの.

っ、おしの下れにたい何らせかいいた。わしは、すぐせかけなければならない、 あなたらい、に参小指をいち出き、選(とも7月末までにはボビット年を出て汗 かれるようになきるかよい。わしもできるだけはくにって来るつもりだ。その時 すでにあなたが立たれためとであれば、すくあじを重いかけることにする。あれ をあられるなら、この何にわしみての伝言を致まれば、何の手とバスハーは信 情してもようしい。原の意味で、むしの友人の一人に少われるかも知りぬ かり は人間で、やせていて、施度用く、行か高い、したと呼ばれることもある。かれば われらの一件を知っており、あなたをゆけでくれるだろう。例けらに向かわれ よっここの前許を切している。わしがいなければ、エルロンドが助言してくれ るものと思う。

とり回ぎ

ガンダルブ

二(m)、たとえいかなる側はがあろっとも、二度と可び側のものを使わぬこと/ ほのまは進行よど

三m、ま物の作用であるかどうかを制かめること、新のっては実在人間に出会 うことがあいだろうから、かれのまおはアラゴルンという。

70.

動かなまでかれがささやいた。「牙の丘の爪上でトロウルやしを降せ。」

*短期に近づくと、地名以目をした。もじゃもしゃ年の、単セキえたかさいホビッ トが鉄橋子の前によるようと出てきたいあんだたら、ねつらのMOREしゃない。 ア、ノブ・アップルドアだ、知利の販量がいて採取器制を辿ってた。ファーニ 死なんをい、男は誰をきっと無い無って、見をついてから、大きな目であれる

*あんたたち、毎度を採りに果たのか/パーオーク別のやつちが同様で製造の ちのを加ってきせ、おれも大きな下を加らされてたんだが、川崎になっちまって 人た。オークルのやつらできた。それが明じられるのき。

ました (mmのうち4人がそれでも) てね あいこと ちのずごいたかでщんでた ま、グリムボジェがここに向って進ると、おれを前でむせる思い。近いうらには、 が見われるのはもうすくで、単映の仕上げにおれが必要なんだとさ。」 ぶるぶ る身を重わせなから、ノフは計杯子を同りしめ、従らんと知らいれないような火 さらでいった「なあ、めんたたち、まさかおれるここに得き出りにはしないだ

72.

さなる知識を持っています。このことはよく他えています。サウロンは、この世 がにおいて順一の力ある者でもなら、間も加大なる者でもありません。。

「金のマラールの中で、」も長れた弁束の腕をいつのはオログでした。オロメ の両面がミドル・アースにない回いり言意。かれの加大たちはあらゆる事の生き メモルなとするがよい。

*ミドル・アースの中を地で生き向たもの中で、自ら皆意味がドリアスのオリ アンでした。夜たちを吹こうとしたり、夜や水の中間たちに重要をかけまうたす。 あるに作り向かっときは、またべのかりを用みとするがよい。

「今は、別れの感は吹いませぬ」というのも、またいつの日か、あなた方をカラ ス・サラブンにお迎えするでしょうから、それが絶迹の月度だった。 きみたち

しているなる。ジャーボーをは同じらかけあってみたっからは、おしのパイ グロをピンからさりまて Nakig いおめているんだ。与じゃ John には超速回域を

74.

むたしのキャンプへ出かけております。

78.

##LIMB がははになってきた。たた一つある客から、こぞ言われた単無と、マグ

「おしの信仰を主じせき」、そっとするような味い川が聞これ。自みたちは思

このちゅばカンメルスの無いたものにないない。なせなら、カンダルブの苦いた 他のものと国際が一川しているからた。この主要には、かれかトルマグルデュア にあるしたときのこと。例にあるゴンドールの大部内、ミナス・ディリスの図画 呼で行った開発のことが言かれていた。O. 作品利益のFinalは異な過ぎしい。あ る実は血を貼るがアンジマルの間下のものだったといい、またある意は、ドル・ クルチェアの先入さい時にしか無けないだろうといっている ゴルサドの脚手 ガルキシブはこのネを雪の時に簡素した。また、ガルデレグはデュリンの一郎が 4.った後にもりずに置かったオーク場たちからモリアについてきなく世界断さ

集がつくと、各級は個人の名に切れての無となっていた。/ 四階でもは用を失っていたが、なだらかな動物に傾向されなっているため、かれらはそのを含まる 育成もれたが人のように見えた。かれらの間にわたして無かれていたのは、例り 計画車の制たった。であるじないのような単常があごった。

いえま、主と師と作。 かえま、おの下の限り。 おのあしどに、もはやりめるは、 けがいえ、けかのぬ師まで。 でい風に、原々もがなだろう。 その所もなお、ここの原金の上に、 原たわっておれ。 なんだのとおれたまた。 までがしろしのかちまで。

78.

体の面が、信仰もの間その部別が間にも、随きなされていないことを定断していた。 たっきみたちの危軽が初めてだった。「ハーロンがここを折断しては幸、この保証 についるのはわれれれが同めてからしれない。 同間に、原図な行を向へて拘った。 たしのかかのしたな影響が、後のをかみつぶしたような様で用値しょうをにっ みつけている。

80.

はっと変調のため思想のいて、GMMの一人がトロウルのに買り扱うにあるさい 無の無を見つけた。生きているトロウルがそんな悪い物をつけているとは思われない。だったら、これらこも、18人のドワーフと1人のまどットの回しいは許幸 でかったかたから、ガンタルフに加らえられた3匹のトロラルにもがいないく それ、かいらは55人だち以外の呼音でもない。

m.

この大きた太保、海にのある面目をするに関わるようになっているらしいです。 カガト・デェムのドワーフが所有していたらしい制ませ、デーールの全の原料 は、きの考力に対してかなりのかもよううといわれていた。一つの、いいえがモ リアルをの際にされ出した。ブルーインのようポリンが、原料を使って多大な変 の事意を見せた料けたというのだ。そしてカリンとその中断たらは、無ちを制よ りは耐からさく見れたもよのはずでに関ったという。

82.

MMADのラガラはって、ひとく、KRAWMを出しられた。そのの気は含みにガンタルフのなめを呼い出させた。MMの制き出すと人・Mはを使ました。Mまるのに同けたほうかいたとはったさんたちは、あるこうそりでいまで、MMMMには「けんんた、音楽でたくらんののだらからこう。何かが倒落したようかでもなようシンののことが含められた。

B3.

多が、くぶんからさいているのを例にずれば、これがませっトとも問か好する ところの内容であらう。内容性人のラスギルが特の原をすてるのを、エルコたち か得るもかりもひりあみなから、色が行く打をなけている。

84.

きみかたいで用してめているものを探せ

85.

ここの明かりは思ったより明い、もっと明るかったら、カウンダーの味るの問題 何によらすかっているロン国際付に取らいたけんだるか。

88.

MSM1マイルからころ記さいたくさんの形を開いない。に関いている。少なくだちたのはあるだろう。一つの同じを振りたところをたに向かり、原下を歩いていくと、別1/ドアを辿って何の方面に加た。ここの型別はかな自席から、安しる難いくらいだく

87.

はて、こればちょっとの外に、ロかほんのキレかいにさらされて構み、ある体を が呼にも一切はかったもいのようだが、これは事まれもなく。そがとはトプロの にのせてたられたいかだっかいようなから、ロントを全に、たのらのである。あそ らて、トロウルのよかがそれをなにとって、自分の単に帰るようとしたのだる っ、あるいは、ここのほうかもっちはに思れるからであるうか!

88

(無もそれを知らな)にとになってもんだ。クリムボショはそれを終もいいそう にないきまでも終した。とすべはそのにも多聞いたと思いれるとうかのかさい 人を押しに無文を高った。おれか思った。それはあいつらかでの中ではつけたか っているものだと思うよ。おえ、おれをようしょうっている人だいするらからん たまのような大日本が、あれのような長れな者を主収しにする気にっないだろ うわり

89

組むととも終く、すべてかれた。この場所には多の常能は無いられない。ただ。大 表記パンマーが明ねましま来るいらつけられが明かってくるだけだ。

列級、ARIOM G かどいこのできた「おれわればからだ」「明らかに、非常に力 できばあるドリーフのでき、「A COM、O A DA DA DA です。 A のぼる果く ために思いた。 いわわれのがは、するがっている 知れ、ぎもを見つけ、用を聞く ために思いた。 いきばはまけ、すがいれられつで、 をMA でいる。 マイルの子ら かは他の 人になるまで作用の何・おもむくことにならうと、われわれは吹わね ばたらぬ。 たか、ナワクリンののはあまりにも、ない。

「おかたちはチェリンの同性に入り込んで、チェリングに動を削った。よって おったおはチェリンの化い多と、チェリンのでにみたとびデュリンのそのを呼 え入れられるようにしながればならない。

28、正真たちほどこか他の場所に移ちれた

Windows (する、他と数数の所がなアラカの間をはつじのかたまりになった。主や 事情は別かれた。

91.

「わしかまた自体好きのおきたった時分に、古い風見力伝のの上にある原理でこのあたな皆を見つけた。今では何やかな原知についているからしれんを出来する。ショド・クが、これほこの辺に住まっていた王の時代に由来する原告のかけらたと称えてくれた。あんたちの形に戻せつからしれん。

82

エレストルのほうそのした事が小さね可を形作った。「企の収録はいと思うさったかではつように、かれはいった。至りアの細工物だった。ドワーフをおは、それを使って観を得いての意識に関心がけたのだ。そこにはドワープの地域があえられていた。」

93.

「おヒットナ」と、ハタバー鉄がWAが、「含めて、これで知り出すことはとく で、おおかをハキンズとおっしゃえましたっけい バキンズ そのを前で可か良い 出さなきゃなんなかったんだけんど、このとおり、みからのへと向いことを下れ ちまって、したども、考えるひませえあれば、また思いつていえ、ノブがお客様方 のおと形を用風します。活用には火がにせえますし、すぐか様の円点を含せます で、

「おーいえ」ノブス | かれけどなった。「どとにいる。らしゃもしゃ何ののろまつー(19) それから、100円(170)った。「ルボがありなさるなら、ホブによく世話をさせますで。」

84.

サンタルフの手帆は同校にもわたって参加れておい、何人も他の人に商まれた。 終かあった。

いぬはすべて作るとは問らぬい

状態するうまべてか、迷う者ではない。

把公式工, 即进行比别是,

THE ROLL WAS INCHANGE

THE PROPERTY OF LAKE PROPERTY.

膨から光かきしいするだろう。

折れた方は、新たに囲かれ、

* bur かいが、また ドルなろう。

四個、パタバーがこの手板を加利送り前げてくれるように願っている。立れな 別だが、間の中の異性たること、がらくた過ぎ場に関しい。他まれたことをいつ もおれてしまうのだ。もしこれを忘れたら、人体Dにしてくれるつらり。

> きらはど カンタルつ

85.

この味には知と力レキが概念している。ことで特以外の助を見つけようとしたら、個りにすしかない、サムワイスは関すと簡め起をついた。かれらん中でまた 駅()たら、は中の何えですだ。だけど、おら、ちっとでもお天理県の先とかて太原 に当たりできた。こうでは、ましたた。

98.

さかな7つの側面を作っちのかだまりが数別。ほこりの上に何かっていた。所有 なをもそられる。例のが発力が1月月ましている。

97_

ドアに訳ではあられたメモに、うまかれていた。中点なこ人は中かあっている したことでしょうか、ことなるかけて「みません、当らの国中の一方が学々下型 しております。本格的なキスリの単位所ただは入れたいと思いまして、まますの 沢地の北にあるキャンプへ出かけております。

> | 版目 | テナル・シスルロール

90.

このプレトにはロスロリエンの表面が高いてある。や住むれたマローンのに提 また事態で、ミドル・アースの多い歴史におけるエルフと人間の目和と思慮が書 かけていた。

98.

→ 中の他のの数はあまりにモンない。原王が指摘が作るをひっからえてモルドールへ返れよった。セワロンの綴らた。

100.

カレキののとないがWeb.カエいた

そのを物は単生をはてはらばるに使れているか、バスルのようにほろ立てで みると、かろうして次のような内容が無み取れた。「わなしはモリアからオーク ぬとらか痛んだ!(上の・そ は見をした。オーク鬼ともは、かず山に近いコルサド と呼ばれる古代の地を何む無けた。われらの祖先が同時に作り上げたアイテム。 モリアの・・は、オーク様々そのましたもの主でいようた。われらの財宝の多くは この無にあるのかもしれない・・・

オータ県どもは、テュリンの金加さの中で無もはかり知れない力のある金の で作る知能したといわれている。その用途は明らかではないが、コルサドの川底 能力・高速が反映されているといわれている。強大な悪をほのめかすららわし いるが

「わたしはもっと多くの手掛かりを得るために、占領山を観べてから照けへ向 からつもりでいる。そこは解析ですら近春らない危急な場所だ。十分素知してい ることだか。

(富名)スッーリュ

101

ける。まルデナド官。

所たり触り所はうまくいっております。先月からでこを知のまし、日子たちは 生物の身体がすることができました。体質の何もまちなく改善されるものとい しております。たた、あなた例のでは個たちが也元の者だちを名だなしくさせて されていますが、かれらはそれを供く返っていません。ののではいばいつでしょ うかり

THEM

ボビットは、優小能の主人 ロソ・セックビルーパギンス

102.

「色のだいのはをとくと考える」 切り切り ポピくるを確認的 がしっとまている。 一分で、オータ階がドローフを残し、死人だドローフを以った見ている。 自分の間に感られた人物をドロロルが長べ、 そして、情が必然く無い上のる。

103.

/小さけご押しよめているものを担せ。

104

他のかほごっぱつ然で、他には食物のフィテムが風かれている以外、ほとんどり さたしの状態だ。

105.

ドチの上にいて耐められたメモにこう目がれていた。中国なご人も用いる。でいらしたことでしょうが、ことちをかけてすみません。当時のますの前大かなメ 不足しております。主権的な多人のの前に称だには、れたのと思いまして、また 大の前他の思慮にあるキャンプへがかけております。英語かそこらには、おけに かかれると思います。

101

ティム・シスルウール

108.

このフレトの中で、まるかい無ものよれつの無かのを強いなからの言語で感じ れるのし、ていた。他はさみたちに思づいてお思をした。「お針子のディナリンと いいます。」と何かいった「よこにすかって新しいちのを組入でいたんです。こ のケープですけど、気に入ってくたらるかしらり。

107.

さされく声が観された「スローリのケルンから。近、雨。原、梅、東、北」

708.

エルロンドは、かたすたに付き図かれた制度のマントを移び除てた「テスクルのでも少なくとも6人がどうなったのか、私なた力は確認してくれた。しかし、もは白さすぐすえてはいられない。そのは人の重要ともにおし、ましのはちのまを行かをよう。無性があったその時間とともに、カンタルフが行くだろう。なせといれば、これにかけ、「中かたけませなるたろうし、おそらく生命のいきおしましあげられとなるかもしれぬ。「ものかはは、世界のその頃の自然の場。するもち、エルフ、ドワーフ、人間を代きするきたちとしよう。エルフを作ましてレコラネ、トラーフを代ましてキエリを行かせよう。人間の代きとしては、コンドールにあるミナス・ティリスの可能な男、ボロミアを同様させよう。

File Transmin Europe せられないわけではないが、それでは他の目を引きつけらだけだろう。これらればなエルフたちをあなたの一行だが大きのはよくない。わたしはおなたのに特に関すは2つきたちをはんだのだ。

(あなた方は、ここから水へ遅んでから口を通り、ロスロりエンの食へのからがよい、わたしの一種の名だちにはてきるからりの機動をするよう伝えてあるが、中にほどのとなるものを次めるっといよう。わたしの一種に何か得れられたら、わたしの名がも作えるがよい、強い体験の中であなた方の関けとなるよう。ガンタルフに無性教育のミルボールを与えよう。難く作うが柔い、間様になったが、あなたには背景を一つ与えよう。いい使ったろよいのかは、いずればかる。それはアメロン(と)・つきゅだ。・

108.

内は内はする中のかでひったり組んだいの時間が出口をふきいている。

710.

この時には可とカレキが重要している。ここで特以外の何から同つけるには。た れかが頼らればならない…

m.

はいはこりかかまって、またたい。他のかまえるようになった時、不思慮な形をしたカレキのかたまりの中に、7つの別面を持つ石のかたまりが7個あるのに外づいた。そのかたまりのひとつ(とつに、ドワープ語のルーンですがいまれているたい時の中で最近性調査者できえ、それらのい味を呼吸することはできなかった。

112.

「おね!」わたしに共体的を見らける目はないけれる。この性重なキノコは、 ゼヨットじいさんかは自てていたの力が重と同じた。概念な数で物だる。(といったのだが、仲間ならはきみの最重都を属じてくれないようだ。

173.

はこりと自かびの思いで呼ばしわかあってしまう。理解にすらりと進んでいるのは、音が高く置も切り木棚だ。大きの相手の置からりら出して来たらしい。しかし、単位はまもも何を任とんど入っていない。1巻本が多い回数の限には、「朝日の歴史」という前に含べルが付いている。その下には「新りの料理」という頃があるか、木の数はいない。「その他」とうべんの付いたほとんとからっぱの別に比べ、ほんの少し多い程度だ。

「かつはオーク型のからまた」とある周光便いて、お切たちをすっかけまえてしまった。を向ふを向っている人、 かれの声が二層がないされたでもった。しれわれ は解、からを加入でいる。はつの場合なりを向すつもけなら、傾回の近くにある 無のを使って、もつの作のへはくのだ。やつのサナをくじったかの用しいの。等 まかっことをはまた

115.

アモン・スールのサルドラニ TEMP サドレッドは、たちのあまり間時代の所でに かを思った。ほれが数目では、サドレッドと目的するために、不方にかかっていた ま人のかけこうとはなのないか、中でオーク場にあわれて保されたのである。 はは、正の他では特殊に入った人々は、かずかなすずりはごを明る、愛える人を たい、また、優する人と述くはなれたいみをありたと話したことであるか。

118.

「プロドの日前!」 せんか明んだ プロドはせるを持り返ったが、このを選び生しいもつくばかりたった。せん。ほくたちはどんだいをを払っても何無を係る びのほど持っていかなくちゃならないんだ。

「わかってますだ」フロドのけれ、二人でいきましょう。だけども、何か大明なことを忘れていますだ。それをいわなきゃならんですだ。

"モれは何かは、せかり

117.

ビルボがらの手点にこうかいてあった。「右の左旋してはプランテーバックでの 人々に向われ、 うみはそはの中から、それよりはるかに判断をそそられるレ イシアンの水、つまれベレンとルーシェンの内がをせつけ、自己組成だ。即対が またあしかったいにルーシェンがエスカルド・イングルトで加ったこと、ネド ル・アースのボの一部が、またに仮かを寄れずにいることを、この際はポケにでい る、エルフが低、まもほむがいないくと、木はルージェンを振い出すと思るであ。 どんはに近りなめてきる、よく「れいでくれるというのだ」

118.

このフレトは、人の故に内をに思されたロリエンの例ではいり一つた。所らかに ロリエンの指摘者の一人とみえる内的点に対文なエルフがきみにもを見て、ギ グノスのは、アケビブリスだと名まった。

119.

京田の上に、お明いも気息のを使の大きな例(木があっていた。このもは関いた。 主張になっているので、お願の知識にあるこの場合に上がれば、本ビットでも記 めるだろう。しかし、明らかは光度な雰囲気に包まれている。 720.

ビビンは如にその中ドにひきつけられた。他の仲間たちが部門の中であわただ。 しく問いている例に、かけはそっと井戸のあるに思ひ答って、中華のそれらん。 だ。特だい空気が見ることのできない資みからでき上げてきて、自りの間を行う ように思った。

から、前向に取られて、かれは待ちている百を手埋むて拾い、ドドの中に落と した。何か自か間でえてくるまで、かれば心臓がに得らざきどきとパウのを感じ た。それからすっと1のほうで、まるでは何のような場所の深い水に行が落ちた ような、ドボーンという音が聞こえた。その音は非常に使くから、うつるな思れ の中でときくなり、単い過ぎれて言いた。

121.

ほこ()の吹きにわれた広い場所の味に「チェリンカチらかため、ぬき目は見を 示す」という「変か何まれていた

122

きらたもかはに入ると、ハンマーの内が山んた。中国の中の代で「そかいている 単語ないというのか、各為たちを収りするようににらみつけた。と同時に、巨大 なヴルグだちがハンマーと人名とさいつをすから舞りして、倒えていたに勝る 取り上げた。

123.

おかからきはあるまでいた。自体の主体が大型の機能におめって作んでいった。 かのかいを、自体ではのなどではいた大きな性へあんでいる。まっと用び下りて 自身の中を重なかった「アデングマールと叫えて行をはらばらにしると」と関 が明ま

124.

がのドワープのではたちは、ただそり前のでしたった。かれらの作品の多くは他 かに代々まされてまているか、バーリンのおは、いちの研究性いてはかの名には せるだけのではをトラからあわせていた。その前のは非常に関係にできている たが、Monorationのはなかのないがあり、するあることができない。

き物の同様に含え、甲の甲を持してほわってくる飲用が聞こえた。

も去・ボンパディルは、陽気なむいさん

上西は原子なり、別ればかよい

され果でだれにも、つかまったことなし、

そうとも、下ムは、生くなのは、

- A JUREAU TO A FT SOME .

トムの足はこだれより与い、

しょいすンパティルが同れた。かれはまたほり始めた。

出ていれての様人が、 日の名に、何え失せる。
のたい何のようにしなびる。
そのようにわめいてもれ。
山下がずっと同こうの
不毛の半衛へ、いっちまえ。
二世とふたたびここへ味るなく
わ何の何を望にしていけく
何より所く何もれて、これられる。
この作がた。まるに同じる。
この作がたちなおるのまで。

ごか成かですいたとれた。の目か一本、お々と思考9月で、いすことも明れる まくつれえたって行き、そのあとはしんと呼からなった。当れたちのはは何なら れた。

128

さのコントは、水の形にたなだりされたセリエンの影視から、つだ。Mらかにロ リエンの信かはの一人とものら、前の高い加えなエルフがあれたもを見て、セレ コンのボデヤルキアだとも乗った。

727.

はるはるの大きなかにこう無いてある。「前角の多数モリア、ドワープ調でいう ところのカザドーディムは、商品で山脈の地下にあるドワープの大都がたった。 できな前後が中

128

「それからもちろん、ヨッゴンドールにむるスメールの別さなるモエレンディルの加ナルシルの見がある。ナルシルは、イシルデュアがサウロンの相から指導をもぎ取ったときままに行れたとう。チェアの間に、かけい出されたとき、単は思えせられて一まの別とはる。関係、これは難しいことがもしれない。というのも、同世紀をもほるうちに、行れた自身の政行や、異の財をしたには、所に引まれた国のない。日々どの他の小片が創から失われてしまったのだ。アラゴルンがこの副を持っている。

129.

オークの大者もカーショが開始の目できるたちをはらみつけた。デュリンの所 は、間のに間の配上に付きれている。当れないストウダンのかを明えて、その所を そこにつなきといているが立と解け、

130.

新作に近い様には、他の言葉性にある域域が丘には、かつてのアキン・フールの域 域がある。場中の種類に簡単された近代の関語だ。例此の下には域下にと同様が あるといいれているが、野快できえそれを利出せずにいる。

137.

「一てごらん」と、例をごうには、の象をのだ。 「原来がいった」「助いのまだ。 hum のももこれに同ば明がある…何ださればか」 かれは母をからめて、大を免れた 平たい石に異近明がいたレーン 文字を見つけた。「G」と、かればさされいた。「サ ンダルフを人の考えた」かればさく無近ここにある。母を守ると思か生したのた るう、われいれにもっと言葉を属す時間があったられる。

132.

古典山の内に古典制度のMP がにかっているか、かつては対解の中枢から言ふ せ出版へと呼びていた。この同い時は、まと思い周万のあるくの意味の住他となっている。そこのは、エルフたちからベン・アタールと呼ばれている。長させリンがたんでいる。

133

びんのたくさん入った側がい回に言うしりせんでいた。無いたことに、ほこりや クモの風が含ったくない。所上のふどう間の限制も度は、ミドル・アースの一記 以上にまたがっている。そを超えるふとう関から無められたものだ。オールド・ ヴィニアドといったは概を切ると、心は何リーグも関れた市ビット生に関って しまう。他のものは、今ちミドル・アースでは知られていない自習で銘所が配き れ、きのぶどうの未が明されるしていた上限や無初に加んだ人々すら思い場合 させない。さいと、は、現んではいないようだ

134

「10年なんでにられているように似るされか、おおの北側の中国の下におわって (18と伝えられている。その状は、伝説のバルログほどの魅力などの物質をもし ので、脚大な力を持つといわれている。)

135.

そこに報告論み入れたとたる、他の上の文字があらをあららめ、まらなくか正して元字に記めるようになった。実施は明らかにガンダルフォ人のものたっこれを思つけてくれることを思っている。れしは日下、あるどらによって他下に良われている。ここでですですするな、やつらは解析が何よりもびらなのだ。ましゃし、スの名をかえておくのじょ。なせなら、その名はやつらをを配する力をいっているからに、やつらかやって来る。もっと思くへあげねばならぬ――カンダルフ

きみたちは木の部、カラス・オテソンの同門に入った。人のではしえないか、Min からたくさんので中が聞こえてくる。ほくのほうから、まるでを使いる可かれの いかとにもちるように、大手からのでかまってくるのか聞こえた。不知れた場合だ。

137.

エルロンドがいった。またりよ、これなるかい中の所はあです。かけ以上に大きなお加をくぐりがけ、無点な症所をだすさえて、この地に果た者はいまだかつではたんどなかった。訴されるべきことかにくさんあり、一つ残らず場いておいたほうがいいでしょう。エルロントのの調を始める。

138.

この中にいわれているドワースのルーンス手は重点を呼いた。

139.

カーシュかな (15/2)(19で(15)で、大きなトログルの***にある/ デキ()えいシルディンと()えい

100.

きらららはく更か可なかけた。アイ・ナーヴェドライ・デュナタンプ・マエ コウィンネンプ・その元本といいにおような意人だった問いて、きみたらのい にはもも何の経まも残らなかった。かいはエルフボの一人だ。この世界に上台 えど、このように対に見してもくかのはも10年エルフのほかにいない

「こちらはクロールブィンデル、エルロンドの担任にんでおられる。」という! いった

141.

その中には国が分かっているようだ。

142.

そこにはを解み入れたとれん。他の上の文字が作りをあり出め、まちなく所はして作品にあるようになった。10m後 用らかにカンタルで もものものだ。これをつつけてくれることをつっている。むしは目示。されどもによっては下に合われている。わしの言語が作つらそれたであっか。それら長くは何くまいことでですですからな、つつらはロコの中にも要さないに、エルベレ での名を担えておくのしょ。かせなら、そのをはやつらなくだする力をでっているからたっきゃかないけとなる。このの用しいも可を見けよう、ブリーンエン はものとではにつってミスクシティア はたの上で似たでき、このこつの下語をはく他ろのしゃ。やつらがやってきた。かしは何びアドラのもを見る中に、もっとほど、いいけもはならぬー・サンタルフまり

143.

□板の側に自用が、加ジャットのあざるただ。一つのカーブを値いて滞い得また かけをされていた。小れらはゆのように作く人に用り吹える用を用はけれ ようまと倒まっていた。かれらはゆのように作く人に用り吹える用を用はけれ を終わ回していた。大声の話は乗り乗き、その話はますよす大きくなってきた ・ドーン・ドーン・トーン・トーークーまかにこつもきみたちのところに落ちて きた。画のほうから、トロウルの間に変たらかたきならのある傾れなか開けかけに 大の上に戻した。しかし、同間の回間だちにあのように回しばせる型値のおわの きにゅうつゆもなく…っとおとはなれたパルログからってまた

144.

エルフをりのの中るような飲んだまで、クロールフィンテルがありかけた。 「わたには同け」からあなたを探しに進わされたでだ。そなたが多中を終じ過た れたかと与うか。でいたところ。。

それではガンダルフはもう良けらに関いたのでしょうかい

(する、わたしが出かける時だはまだだった。しかしそれも9日も何のこと、非なたかプランチーワイン川の内こうで出会ったギルドールとかれのますたちが、あなたかこららに向かっていることを伝えてくれた。

「外の上にいたせのロンの係ともを思い払ったとき、ミスエイセルの何のとに エルフのしもしを聞いてきたのはむたした。9人のしもべたちかいにに近づいて いるとなると、なおし出た。例の項目手たちがあたたりの型収りを向前に見出し たとなると、思のようにはそればそであととはってでよう。」

145.

申収益をは整点使いによって、いりな手向となるが、さりの違いも可能使うべき ではない。さらに、その外には、ドワーフがカセトニティムと呼ぶところのもり アに関するあろしい場合が含かれている。作がその違いのもとである。

146.

この行の示だはMBMにMB されている。MATICできる いいることとえ下的MAT

人間たが、まただちのなっているとんながしみよりも違ったもみを用りた制 はかここをきまよっている。場合な気がはなりられないが、にもかがわらず、ラ つうな知道のがしたとき。そっとするような場所があるだちの性をを立た。

(力しは生物、この内容はたらだら思うてき思してきたアモン・スールの数多いの主の一人、サドレッドというまたった。前、わしはましたが、女化タンナにしま物はた。たが、二人の意味ついた所はれることはなかった。というのも、明末のしも、とものはなかのかをあり下にも加かないたころへのれるいでしまったからた。また、とものはなってでしまったからた。また、これがあたともに強かいだけた。はられてきなりもれしを行ちのめした。おしは記ちの場合ともに強かいだけた。はらはよの場合に対していただか、そんなものははのをよっなさながいた。わしはよりまとの場合に対していただか、そんなものははのをよっなさながいた。わしはよりませのために取らことができず、この中にからってきなさながいた。わしはよりませのために取らことができず、この中にからってまなさながった。

・全をはかしはたものを見りましている。例のに個を知ることなどできれたい ものに、わしゃらんだしはいまだに乗る切りたいといっている。まに属されてい もあかしまっとの知り、だれしたしてごとものすわりには行かは。

148.

がいぶんでくとってから、カラストカラソンで収を大きなマローンHの私の住所 かにしつらえられたときなホールに出た。母母の主に向かれたこうのいてには 生きためるであてしていた。ホルンキとカッドリエルを紹介が入てすねっていた。

148.

わたすしは、コンドールの根のデオリールのサチ、のけるアゼリするです。わたくしは、わたくしを作業した中のたえを作しまめて北方へまいったのです。そのまの中で、わたくしは、その些が明らなり、評価が次派にその高さもあめるようにかりました。しかり、海の背にはお探わながが明えやらずもり。そこから严が関これで多ました。それはよくカケングは、それりながら、はっき月間に来できました。そのかはこう明点ではかかです。

がれたる川を求めより そはイムラトリスにあり。 かしこにでいれるまでへい。 モルグルの原形より知る。 かしこにでもを見るべい。 域がの自担さにありてふ。 イシルデュアの場合は更生し、 小ささ人ふるいたつべければ、

おれたものとは何でもひましょうか。 # かい(が)インルデュアの何いであったのでしょうかり

150

プルサドのガルチレグをは、は下の縦上たちが出せドニテュムの動物からにっ てきたオーグもの質的から回り上げたさらめく回る。広い画線像にそびえるは ahの結の選手体でに関した。

151

ドロウルのMissioの内のはにエルフのであかいされていた。どうしてそれかここ にあるのか、含みたちにはわからないし――何りたいともMissioかった。当物は AIPにさられてはろはろになり、ほとんど利用で同じたった。ロー・ののるのは、 取けらに関するもので、水のように何かれていた。「原士でおとう前の内にうに イムラヤリスの間内がある。」

152

ミドル・アースではも添かな明か、ダーク・エルフ エオルの利、デッグラハマルである。その例は、タロドのチルカールによって収入られたもので、ゴンドリンの所の正に失われたとはじられていた。しかし、出い引き収を思れ、モルゴスとの問題が収りでヴァラールに味力したドリースたらによって、明和品としてモリアに持ち側にはに、モリアでは、デュリンを担いモドナインがその何をあるっていたが、それも、デュリンの例にしかドワープたちをモリアのらかはするまでのことなった。ドローフたちはその所をモリアの自然からあるよったが、今だこだもものがは難ら知らない。

163

ひとくみずはらしい性ものがうなるような単でいった。医師のドワーフたちに そり字といえ。」 きみたちは多次な種性をおいのうえだ。((4) (1))、その生きは を開催の中に限力された。

154.

きみのだいまつか、配っている人間のをはたかかけた他におらすかっている。 りたナイフを鳴くにはんやり吹したした。ほきとこなかったら、そこにおるのも を属こしていただろう。

765

これは古代エルフの主は必需はた。といっても、その性値はまざれらなくドワーフのもので、明らかにエルフのではいまかまなそりアのドローフのモたらか学はらしい「今では何度いしてもし、「か」が何ではほれていたエレギオンの時代にあるかかか。

150

川口の形で大型に似せてかられた場面が、主要に関係けている。この層は、力能 るに毎川の間だ。逆女はゆっくりと埋みのある声でいった。「わらわは、そなだら のことも、そなたらの心はのことも存じております。だが、わからの場所から スイレンの作を取りと問からしたのですかと、か可できるしるしを見せなさい。」

(説明なりで作られて)) ちょうに見えるだが、古中の倫理に入われているとも名 られている。その取は、15歳のベルログほどのおれな人の場合においても明れる があるといわれている。

158.

「なるほど」スマウクからを加めなからいいは、まったくそれに視覚するしてき をしなからいった。「他の何たるからずえずに、おれのような過ぎ作のことまつ まらんもので移せると考えらなんで、お何たちはよったくの何はにちがいない。 おや、何を使れた明いかする。おれのカップをあんだやつの何いに似てるぞい ひょっとして、そいつの可味がなり。

169.

空間ない。いたは、エレギオンのエルフにも地域も完全の間におであり、多くの下 とはないのフィデムを設定していた。近日間だちのたかりレンリムボールだ。 かれはサウロンのの間に乗することだら、多くの力ある様何を作った。こうした 紹列の中に最近16の指摘と呼ばれるものがあり、クレブリムボールにありわか レしい。き込まれていた。エレギオンが同じし、ケレブリムボールは16人だが、か いのおはおかにならせき続けて、側100かの「110の人と同じがありていった。つ いたは、その時候は大変のを通りはデェネタインによって古真へは同じもれた。 いたのようなでは、100の人を受けてしてなり、以下、2000 の時には二度と発見されることがなかった。

180.

一枚の個」行首が、30フェートの見名をだだ一つのカーフを描いて高い合金にかけれられていた。他力の人のmc.うに、四いちのの最か所有人と呼ばまってうまうまと思えっていた。かれらは血のようにすく火に無り囲える何や三日月ガを掘り回していた。本にの所が高りまき、その行はますますべらくなってらた・・ドーン、ドーン・ドーン・ドーン / 光がいくつも含みたちのところに持ちてきた。四のほうから、トロウルたちの所に飲かたちな石の版を向せからけわいに大の正に変した。たが、後のように加しがなると知のわののきに結構の仲間だちがあらつ間られて、※と前にはまれたいかロジからってまた。

つばする / これはあんたたちの一人としてかない…こない酸じゃ / ガン グルフがはんだ。喉は切いのあら人がきりの力を持ってしかこの歌には立ち回 かえないどうう。おそらく

181.

「あなだりのは強いか、きょうここではなわれたは内は底しかったと思う」。とエルロンドはいった。だが、眼瞼のかは出る前に、肌のやり手だちの歯のを知り、 他の心れをもっとよく倒るできかある。よって、風頭の重ねたちを集めて傾動するのた。かれらかなんだというがあをわたしつもとに持ってきてもらいたい。このは肌の地で、あなたのかに使いつ根がや毛がか得られるだろうことも含意に入れておくがよい。何く、広くやき向い、もう一をここに使ってくるのだ。

182.

は何、オルデナド 塩

わたしせもに対して関しいですをときよう。おなたの方の人たちに伝えてく ださい、他の、わしのさいではなく、かれらのおうだによって、されにも原則は単 してしまいました。かいらかもっと手。たは単生していれば、世界はまだがいて いたでしょうに、地元のもたもちかし思いとってきております。映像を守るた か、この可をあとれるあってください。先のではいはいつでしょうか。

> かどり上昇。単小弁のモ人 ロリ・サ・サビルニンタニンプ上的

183

ここにあるドラーブの制造は、こんな方が同にはいぬいながらかする。しかし、 町×間がの手で造かれた本材でか可い場所からは、は何とれれをなっているよう な気がする。川の上のもの性間には、ドワープのほかもからものをを行ている一 人の前側したドワープが描かれていた。

184.

大の一向では水ど、下丘に曳れているようだ。アルセダインのアルヴェレク 生のもいほうのエネアをナールは、パランテェイン川の他の明りを開かれたことで加たが、風のアラフェール 4の名のもとにこの過去を挟いした。インルデュアの下部たちか周つけらったにつの多いと同じ過去は、10歳を息とりったのである。だれ、二人の周のをかは 7 かったし、アモナールが、10歳 までを解けまでにを選択で、何の最にも立たなかった。そして、原体の吸いできょたもにに非難されたアモナールは、10歳なけ、明におり、原動になるとも優先に対されてしまった。かれば、アルノールの正に対して「ったを固は、たらに下原たと言い続して死んだ。そのはきからは、2000回転をは下ろすが知ら中にかられた。

185

ドブがバタンと関係さらか、モリアの時間のホールに乗さ起った。何かからは製 かれておけるさが、更いものいこうからはく聞これできた。その方は恋の神に生 んで立っていた大きな性の人が明こさされるうだった。ましい本々で、ロいこ と立っていただけに乗っなことだ。その主かまであろうか、その時間が同である うが、いまや自成の選ば水中の生き物によって得さされてしまったことを、ガラ ガラがれまちる(い物物等・でいる。所用の中間のまむ気はただ一つ、モリアの中 にあるる前の道だけだ。

188

鉄店、お店を加いも学生はおほろの出物を見つけただけだった。有物をほどく と、デュリンの幅いの二支でかららっと見た、あっという間に参加に削りにか け地った。

168_

172.

てことだ。なあいナイン・」と同刊の声からえた。

しみはあわる。 そら: 配用作: これで無望がいい。

173_

174.

さまづいた。これは果されもなく、全トワープの人、テュリンにもかいない。た

きて、ほぐのは角かそうだ。

ここにあるドワーフの影響は、こんたれば間には相違いな思じがするし、しかも、この 知識が与で加かれたの間で行動い程度は、自然とは資金からし出しているように思える。機能を取りからの情報にはたんだドワーフのヒーローが開かれ、そしてにいたことに、前の書のまでからの名があっているのだ。例えなるは、文明の 17かな / たとえ、から16 自身の先をはぎえなかったとしても、生きにはは、まし辿ったの多か会したと言いみ、ヴェラールによって、から6の時代の服务を加大なヒーローだけに与えられたのたった。またたび生命を与えられる者と同様の/と形が、しばし命と変とされた。

178.

というかいれてだめがはかがあれたいりにいり取り、miniの際に適じるからいたは かれた。いきならか一つ取るは、からようなメッセージが利求れていた。適当所 に、ナウダリムの心にもについてでもよっ。

179.

トムので、チレいコールドへのかここだいる。概要は他のため様は別していた 作らには、例すれたヤナキのまか、ボウルのれて地域を取つがに行かんでいた すわたしのスイレンのた…」と概要が明いた。「わたし用の他からの例の例如に あります。どうか、スイレンの花を取ってきて、このしるしと、必要なものは になりとこの味から行っていってくたさい。」 様々は、自分のレましてある。 のの味を取り何まに辿り付けたプローチを含みに楽し出した。

180.

ドワープの個人の影響がことによっている。httleをはに上げて、作業的の上には かれたけかにあましたひとけるもの場合を入るしている。

181.

きれたらの形は、対応の個人はもったほこびを問い上げ、入口にあるしているの たはいか見り付かつかなかったものにつまづいた。時間の質やにもる石をは、小 の長れもないたちにのでいって、ドワーフのサーンで平かつく可能力でいた。 「毎のようだな」と呼吸の一人がいった。ほこりをもうと、フンティンのだかく 一リン・モリアの両手、と言かれていた。「では、かればそんだのですね。」と同の IOPMがいった。そうではないかとんだしていたのですが。

子師に関いると、その部内のもとか明らかにされた。ここは他、起来の例だった「マサルフルの間」だ。所いところに表すさてしまった。われわれば打け付にいるのだ。 現に、まなてり取るに称くまし、政治がある。同の題ろところに古代の取出の部分をっている一所れた制、まさかりの問題。既につばなった情や地、何ここで何があったにせる。 テキ過去のこととなってしまった。

182.

されたらは於けらい来の内容に入った。深けらのエルフの何でに関するたかれ、 棚と、まじゃトの何をは関する本がたてさんあった。ロリがヒル本の内切なまを いじり向すとせうと称かりくなる。しかし、伝きびっぱのロリか・便でもこれら のまに即ゅう可怜を定すとは、どうもまえられない。

183.

このはこうなに関わっては、とても、かっての大は同には同じつくようなをいたか 旧り切えていた。中のには高いはからM2 m人できまいかっていた。それらのは は大門のいたいはて切られており、そのいり出したされば、そのもかします。また もって、人井をタスでいた。これの巨大なほのは元に近く、人を取りは自かのを 個いていた。そこから収加いチバキーを立てで知らめいている。きらたりは人た 「他の質の声に下ていた」うまいことに、こっとの間をよかさえまっている。

184

既られていぼどの声音をはいするようになったのは、アングハンドの時代からではない。有、10m なり事が開送り出版に入り込んで、この出意をは、20mmであったが と見ない。日本の時間を下くかき可をすべて個人に、時代をはるつれて、セラダ うえの可はどんとしゃたくなって何かいものすってを配配するになり、それを ればさはようといんだってもから入うののかけに、中心にからの一部を一所の所 のをはまえて何らえ、4,0m かけに間にどめたのだ。中心、山脈はカラズラスの 何はなる思じばらようになり、その所にはそのかと何しくさいに動きした。この 所では、も何の所で、解析なるかう又ラスのじかであり、そこにはもの所がより がたまりの中に、解析なるかう又ラスのじかであり、そこにはもの所がより がたまりの中に、解析なるかう又ラスのじかであり、そこにはもの所がより がたまりの中に、解析なるから又ラスのじかであり、そこにはもの所がより がたまりの中に、解析なるから又ラスのじかであり、そこにはものがなか のたまりの中に、解析なるから又ラスのじかであり、そこにはものがより がたまりの中に関いためられている。それに変えてかましまっていららかとなりつ (すた、3)mともはわしのと同じない。た、今におりよりまりに入りにもいない。な ものでは、3)mともはわしのと同じない。た、今におりよりまりに入りにもいない。な

185

ここには中の年をマテナらのはいらしられないが、例ができないをするのもの が、ほと人どおいがたいり加となって含みたちをおらえた。

186

サブンと音を立てて、内軸の仲間のオンテレーを行か、すったことをに関すれている。 各次面にあるた。単常に関われても取がされていった。

187

(オーク場たちは新日をしているい思想で、、そのエルフは回収の回を行う で何の問題にあった。助けようにも中の無しようかない。「やつらを作れた」 いゆつらがキャンプを別る何に、きかたちからつらなければ、きみたちの単は 思していき切えられない。

そういうと、そのエルフは月春可多願った。

大・保護性もたちを見てもいからない。これは含みたちを見ても 他からず、特別しいが何もまえながった。「いたしはこうして影の中にすわり、点 りもらもいなる場のことを考えていましたはひます。例如ったい ですい

189.

「もし、わたしが何能を明っているのであれば、それを収ることだってできるー ーそう!

別の実ははなら上がった。その事は反然的にも無してさか而くなったように見え た。行わたしがた例のもことは、そしてわたしはアラソルンので、アラコルン、行 たしは、他にかけてあなたちを助けることができる。四はてまし上がよう。 さいろと、かればかで行れたマントの所に含まで、日に帰れずにっていた例を 続いた、川は何の上一尺でも下のところで加れ、所の気にはなくなり。国を型と った時何のアハが一つよわれてにた。たいして役にはてたねな。しかしこの 明を好たに向えばすときももうのでかに行った。

展から必かさしいするだろう。

所れた同様、所た代別がれ、

無疑の奇がまた工となるう。

180.

グリムボシュの内のかにきつか、ベストでいた。自みはそれを重要得くれんだ。 「おしは、そなたのなわはりのきまさまなは単位の性を持っている。その形態は そのあたりにあるようだ。セひとも主に入れればならん。思力な成績なら何であ れ、わかれに対して限まったろう。いうまでもなく。デュリンの単はほかすても 悪に出るおはならない。

でなたのあるにあった。強いのだらみから聞こえてくる。に関しては、わし も称をを持っている。中海の中に担由にアイチムを検け入れて。関こまでくる声 を言さ何めよ。それかカッドーチェムの広断へ立る下歩かのとなるやも別が成い わしが明かだその広間を訪れたのは、「キュリンの何に」が利来する以前のこと なのだ。

「他能が呼吸だ、軟をつくるな、その他のことは、主張なきがやってくれている。」」を全域だで、間近に向るまでそれに手を出すな。のを使うと9人の果りまだるの性能を引きつけるからしれない。かけらに命うのは何としてもあけるように「わしは、そはたらの規能までの歴史に順定している。オルテナドには、つばらんことでわしを何ましてくれるなどはたておけ、なにしる関連会社体制しにとって、計画範囲から見たらほと人と取るに見らぬ、さまやかな楽しみに過ぎんのだから、……S

■無比らい手のは何であられていた。

181.

そのエルブはすそうに母を付こして活しためた。

「わたしはま (明明)」に、光量くらが主の分(ゴ)(2周)(2.3.0)をいている不能温なが をみました。あたな、前外だら付でした。その例は知らかに無らえられていて わたしの加力を必要としていました。

かれはうめき声を上げてから、また地(力)、「その重ねが無ちにいたので、わた しはガラトリエル理に考えを求めました。ガラドリエル理はわたしを関めるこ ろへ遅れている。一人で乗り口の果然にある毎年の場合を見ました。生でできた は大な体のが、単で見た果に同じ込められている声と一般に見えました。まあり 同はその内から力を扱い用って、その力を用明のその軟件を関すのに使ってい るようでした。

「わたしはすかさす。この侵動と助う使用を振りたいとガラドリエル場にお願いしましたが、ロリエンのエルフはその修物に関でないようにめられているとおっしゃって、拒結されました。それからはもうその許を見ることはありませんでしたが、忘れることはできませんでした。それで、たった知らて活用に向かいました。とこうがそこでオーク風どもに必要されている向い、ロリエンに思ってきたのです。

「思ふり山脈のオーク界たらかの所口を到ってれた。例けらせロリエンは他に にさらされます。カラスラスのロー・ガラドリエル川がに物のことをそう呼ば れたのですーーこのほの力が明ますさと、おさわれることにモルゴスの国気から たらされてしまうのです。カラズラスの内を傾されば、専用口を変換しなければ なりません」

182

きみたちのだっている時かりはほんやりほの思いのに、きらめく日の別もの小 個に気がして何まり、切るい同比の中にいるような気かした。ミスリルだえ ほ るか行。モリアのドワーフたちかこの新聞なな何をすめてころを飾った。モレ て、ここでかれらば チェリンの無い。をもはなめさせてしまったのだ。

188

オインの低し付な声が明にた。「ドウィリのケルンから、西、北、東、北、東、北

184

イとルティアの個別が明明したとこ。 を必要があれるに有け、 のでのがかられるだろう。 におたる状をはいずために けをがかけた。例は最大のされ。 ディネタインのであとせる は変異がユモモがもれた。 にはおはばされるだろう

Minrに変わさいたなでは重さてノマルベスの「たいたよくあることだが、声楽 力能性を呼ばればできるらばいない」と言かれていた。

195.

(人のドワープのい Fのかり かこことも思っている。口をつけるかのようにいえるか そしたら、きみたちは何と答えるだろうと にもかかわらす。きみは、ずゆ はじ (動きを信じた。これものはらに作るれた他にはは、中なるの名以上とからかる。それは、女士たちのからに付っしているかでんたしみに何かからめるのだろうか?

198

※色いいがいたなけた。きれは、一、血を見たような気がした。それはならずルフのようでもあり、ボンダルフより(したい何のようでもおった。所がは適切で加し始めた。

またエルクを見つけておらぬなら、RKINGIE放入用しる用で割せ、そしてエレベレスのことを思わる。なせなら、エルベレスという者には、あんたたうを 切らずかあらのじゃ、ルーシェンという声をにも力があるが、エルフたらからルーシェンについて失ぶことはできまい。

・さらればのりはまず、19年での時代が、そこなら後が多ってこんしゃろう。科 の主人を得せ、まし起ったと言は、MCFできれた明明かよい。」

「カンタルファ」「カンダルファ」と四人で、その時候をごかっていった

197.

ろうるな用がなって用えたは、まわりので気がおったかかれたようなでかいた。 たく、可人かの用い服が取出からよるようと出てまて、字句の風味がどんだく 下かっていった。味噌なものかばのように可に向っている。(AM)にくすくするこ ような色が、だと問題とのからさきをいた。

198.

「マセルヴィング」とさればWID、APTや UPU かったこだました。だから料名所 計だった。彼女体がAPTになる関係を耐せによるものが、「 きみはがをこら えなからいった

199.

き物の目が1200年のからで、次のようにかかりていた。ドルマルデュアのではは、何も深いたからで、次んの前でで、10回になっている。中国の中国はオークをや場合ないは使いかたくさんほんでいるが、中でも一点ならいのはで方といった。これが月り前たならをつえるしたモルゲールのサウロンであることは含ちがいない。からは、日の余道にかまするようしまのに他のでいる。この中でを切けば、サルーマンセクしばませを変えることだろう。」を他には、10月上いられるがあった。カンダルブのしるしによいない

200

一人立っている人のが、カルデェリンー後の近、グローインだ。例はギザーブの をまたらで、あそらくビーローたちであるうか、中に見れない。 きんばんか 見足していきをしじた。こんだいのなたりのかったは、思い切すべき以上のいか かある。それば、同上たらの成为にいっしているまずんだしみに可か得かがある のだろうが

207.

映色の森が傾れて意識がはっされたため、さみたちはPTEのある時()他でく) た。とうやってここに東たのかよくわからない。そればかりか、たいたところく 現る面もよくわからない。一つ、呼い 4巻があたことから 5 ((きしている。

202.

オインが怪しげな声で高いた。 ワーリのケルンから、恋、雨、雨、雨、用、北、西・

203

新音の上述りを乗したこの場下をめれて、ほこりの用もった至っぱの行権があ も、主色の取り物があっこの場合がデュネタインのボデベリサールのためにしつ もえられたということかわから

ドをいか入れたとた人。その上の文字がをそれらいの)には、はっきりと思めるようになった。単純は明らかにガンダルフましのものだ。これを見つけてくれることを聞っている。わしは日下、思言ともによって地下に呼い込まれたところだわしの配てがやつらを加えておくだろうが、それもからはもためだろう。ここでくずぐずらな、そのらはは他の方はまざるがあるからだ。そのちゃられるな。なぜなら、この名にはそつらにまざるがあるからだ。そしてもうっつ。まきやかな機関として明しいるを使けよう。/ ルーシエンは、木の上で同けを呼び出す。このまはを聞く思うべし、そのらかやってまた。れにほもっとはいところへらけねはならは、何じアキッの不を見るのは、そのまた。一切ンタルフェル。

205

その作品がは個からアイテムを構造取った「ははノ」かれば乗いなからべる ってちゃしゃべった。まではやったものを、むしの間のドフに辿ってってくれ。 おかの問わ切はノブの思いつきたったにもげえたも、ほれ、おがはくれを取れる。

208.

きみの一点の中には、かなりショックを受けたすらいた。かれるは適用され、は なのまだけばれなから、ミスリルエドの下午を見つめている。他のどんならの も、このは大きだはずべきのうでは取るにならないもののように組える。

207.

42

前とガレルを払いづけると、世界に示く物まれたルーンですを組み取ることは できた。原料な文字でありまうに重かれていた。 ! 7つのもるとを明られば、チャリンのでを取りませるたろう! 。

20B.

MA はRCM かでいる例するだちのが、デュリンVI 技術の感じ切いた。デュリンの MAA たっとうしこそがドゲーフをモリアから回い出し、以来、モドワーフの ごかに考えずつきまとってきたのだ。されたらの過ぎは近められた。

209.

はいいの方面は、中央には、MOLEMEMEMEMEができるいなっていた。それらの特は カルの中にはまているれており、その何り出した大地は、自のみかし思いるいで って、それを含えていた。つるの話大な様の相当になく、大きな別れ目が自る問 いていた。そこから、原が収るが、確認の中へ知らゆらと思かにでるよっていた。

210.

このロナタハロには、日外のMiない社で作られた地でがあって、研究のそばには エルブタネでディナルブ(シュと明いてある。

211.

地形。ほろほろにおけた同時が見つかっただけだった。そのには二つの日本が到まれていた。「デュリンの目にして、そのこれ間に手を与れたとたん。資が何。に 図け扱った

212.

は水水ははっとして何子からよち上かったメービうしても言いておかねばな らないことがあった…とするなはいはいいのだかえ。

213.

ハルディアは日間しをはずした。「おなた力は、わが良い」と同の中心は、ケリン・ アムロスにおいでになった。ここには色現せることのない他の単胞にもえずる のできかはき見けています。黄色いのはエラフール、内の思いのはエフレディル。カラドリエルのところへ幸いひましょう。。

214.

MPLが終わて、もの似片が回り出った物で振り、よりamisに同じるからな人口が MPLにようなもが一つ映合れ、次のようなメッセージが用まれていたサドワー プルではの数を照ねよ

215.

きみたちの場合はかホールじゅうにつきわたった。ついに、が後のがは、一つて、 ガンキの山のでっぺんにもりでも多々とどくのわるようなすらならが問いた。

218.

トム・ボンバディルはもうこれによいて気がなかった。別はどかいたらバーリマ ン・バタバーという手上のほだする。あるかかすというでは高度を集まった。 でうしムはあえてくれた。でして、ここからはきったもだけできくようにといった。ここからないで行きならい。だけど他的する人にっないが、最もないを失 わす。秦風に出くむすようにかを向けならいと、

含みたちは下去に、彼めてその出作まで四点して、もち一度一緒に個人ではし いと頼んだが、かれはあって高か、こういった。

トムは、国際をごえて(のなが) トムには、守る事がある。

コールドハリがけっている!

それからトムはみんなに声を向け、日子をはんどなりですで、まいだからやB の中によって行った。

217.

さ、いいさは大いならいたのらで知られていた。のちに、似サウロンかそのこの 画場にドル・グルデェアの大きな研を見てて、まさにそこを目落させていったた め、部連な生き他の氏も似アとして知られるようになった。かれの主意はサウロ ンの国事に必められているため、かけがいない明であっても、自らかけていると たちはかれの自在は主しのられるようになっている。

さく見近、内のようななぐり書きがあった

(200の生き物だけが、発恩の入口を辿ってドル・グルテュアに入り、出ていったといわれている。一人は、灰色のガシタルプで知られる風味(吸いて、もう一人は、今やゴクリという名で知られるスメアコルである。)

(のもから濡れる)がいいに、ことならの点かいされていた。そのもだはルーン 文子とかれて加り交ぜられた場合がいられていた。

219.

「はんとだせ、オーリ。」 いの可が加むった「たかられたらとたっぷりらし そするかに、かれらになるもってもかしてもらわなくちゃ。 ここには目には まるのではないに、ないし、いこするいない。

(かれらか生きで通れなかったら、おれたちによっちゃ時の似にも立たないったことだった。 オイン・と取りの声が行えた。

「フーーム人 それでも、おれはかれるからに仕えていない面積が果るという 445

「このこうひょうほりのき

しおいし ニテー ルミス

(株式かれたまた、きみたちはおもいに現金を受わした。更ぎしい場際できがま になれるのでいるのは多かた。

が広。またからが長ってきた。

(PB)のたいまのことなぐわれるのはCBを行わらせるよう等の人、67年のたに その1996年がある。 そう、民が第一年代で高級が大学。

「おいこと人間の場合だとなけ出したのかはいるかにおどらなくらっ」 川 けいらいある 5 (1) さんたおだけがそ (1 アの行ぎのほご) だこ

220.

というはもほとにいけた場所を見つけたけたった。各種には、「モリア」の一文。 かのとれていた。その古い可に手を触れたとた人、計せかりにのけなった。

221.

きみたちはすばやくてすびを従って低い個へはい難りた。

222.

「常味!」 列告となりあか組まえた。一切の言のWはい。その場所には何らない ようになえるが、そのでは風の単たった。つしのますに無いてなる。大きご見っ でわると、それに上記づいたる。この他用をお願らの火事用の時间にしてくれると。

223.

ここにファモいるトロウルは、一般の中でも心もろ大きいぼうだ。またらした所 情かさるこれのは何の下での打ち、からもりもだれ手には主意の小人をつかん でいる。サンタルファーガンスルファードのか明人た。但スなドロウルはい をおいかいとにかめらき、下きな。明知のことでに下を何けず そのままらか。 「カンドルフ、それはわたしが…」といったような可かしたが、その。ではカッに のふたにきえきられてしまった。ことををハトンのようにくるくものしなから、 なりはかがしてくる。 をコロコロのもしているが、キッと本人はくすくてもっ ているつもりなのだろう。

224.

なんでありないたろう。このでのmmはいつのれてもおかしっない感じでしまり せるのはmmなにずなのに、かはそうとにもじられない。あまい、多をでしてい るのがあか。きみには方かった。となこともないほどへきで、しいまただ。それ は有いサフィイヤで、mmに自知の類ののかじえた。

「他ののだたちは、外々の歌、鳥のスマウクを以すのを手にってくいたビル本に たちまべるりまかなかった。」という声が、行から称これできた「そうておよ は、ビルボの・ホ、ロビットたちにこれを取ることにした。ミドル・エースのかか は作ビットにかかっているのだ。「しゅったかかかあるときはいつでもあたた うを助けにドレよう。たが、アトの場合だけだ、ビルボの・あのうち・しだけが、 数十分呼びめてしたができる。これが、八トから木ビットにちゃのかりかた。ま ぬたらか、ブンウェの目であるこのでおを辿り必要だかられては、手を作る。

225.

そのたにはバーリスの一切の限るというもの。他があるかけていた。サインは大 つの地域ではあられたローニと思わるたちは中の門に立て立としているをは した「おれら出することがたす!」 記事者はいっている。今日の解する。行列 の食・含まずしたのは、全年かれら至れりと、あとはもろ何も問いていない。

226.

でくから、ののとり生か的こえた それは他のより下で、おのきみたらに何は をはたらいた可とつ値とでいた。中の原金が細を振り上げ、するまじい原列のが いは何くたけてもそっとする さいわい、中の主要は私に乗ってりってしまった が、そいつかとことの人でいるか多が知るう?

ホピットの大きさの人物が主体にすわって、甲夫の来れを目かべてきみたちを 現たプロドルメーだが、足が、されたちの知っているプロトリッないかれば、モリト 一ルのダーフ・ロードの権力下のも、下なわらませになっていた。

「ようこそ。たかたよ そんなについた。これないでくれよ わたしは今では何 もから切ったいるんだ。は果を在、カンダルフはわかしたちゃりを何していたん だ。かれはビルナをこっていた。わたしちかどっちほとこっていた。別的だけか ハギンスペをいいてくれた。こかも、その別のはサウロンかかったのた。サウは ンだけがまピットでを買いてくれる。かれば、わたしたちゃはを取けるために所 値を作ったのだ。そもそも、別のほかれから高まれるべきではなかったんだ。た とえ、エルフたちかその無限をサウロンのものとほめようか。彼のモしようなとご まずに、みまれたちのをますのかわたとたちゃと、トのりになんた。ガンタルフ は用いるのもしたひっていた。カンダルフこと、モースのだ、ダーク・ロードじゃ などでは、

●かにもされたもは、せらロンの目がから目をを思いたよらせようとした (を中ドールの単独であり) 1 7のフロドはそうがぶと、さみたりに思いまかった。

228.

プローン制はたくほどを目やすく、Mなかくのまだった。さみはその医療を16所 さくは用しなから、カラス・カラソンの15人ならが外の地になるよったのもでも 画ではないと思った。

223.

まておしいが行わった。ついに、当みはmifをMinical して、そいが何を担いた せた。

ルクカムがにっこはモッた。/きみはただがいけることもなるはなし思りだよ。生きているかあり、そのあきを持ちがけんことを行る。

230.

Ing ちのわった。Psalo A いエルフがIllusできていた。されたらかにつくど、か Titl はや生ましてにっこりにった。

いかの中間のみなさんですねく ちょうどう。かたしはとても前やな子をみました。同のいて、その方なだんだんはこなってきまな問となり。その間が亡かって、かりまとをかってしまったのです。からもかわれてもまったように思いましたが、つか一幅の光が当のもからは「て、あなたらかするにやって果るともえてくれました。その生か、あなた方に行えるまをわたしに対しなのです。ちょとわたしと話をしませんが、そうしたら、その地を飲えましょう。」

231.

こっちに辿りたてある生き物は、古代の大幅におかけびた上さの世にかれら は、ターク・ロード、モルコスに傾落させられて他のたらべきなった。モルコスは かれらを非になる上にをえて、かさなりを与えたのた。このたから協力を示象に からいたままがいたけが、このは物を作らいせるだろう。版が使いか、より動 まなれるみつからのどもらかがけが、

232.

mmのドラースは、ついさって行動の値間にありかかったとのもを打してあれて 画問した。この内にはチャリーが呼回に回り間を照さ込んだいがかしるされて いるこ出がける所に、わたしたたちは ほののそせていこう。」

233.

ことはよルロントの名間をた。上風に属字がたるさんかいである。この原門は、 よルロンドからめて画句を影響を振し合うときに使われる。

234.

しまりにおきをきずりなから、エレストルはいった。「もたろん、またなもエリブ 生のギルーカット自身が、おけにの同り近の町上につめたといわれる。これなが を持つ時間「トロウル校し」の間は地形っているな。」

285

MINIをも成すと、近の方には大なマローン側が見えた。さっと、あるこかガラド リエルとケレゴルンのはまいはちかいない。異の方に方がアンデュインの収え、 その同こうにはくまったなが見える。まればたまん間のなた。かに生一つの世 まがおおっている。あの手にターク・ロートのもの場。ドル・グルデュアがあるの だろう

235

「Mはデランルンの用子、アラコルンの用であるはまだか、とエルロンドがいた。」しかし無いなから、かれはここに出席できなかった。「折れたる例」とは、エレンディルの側、ナルシルのことである。例、同としかいでナルシルは用れたの。 Wには水水のでしまった。例をあえできため、のとそのし切さればならない

リインルチェアの明い」とはサウロンのおか、 つの料準のことである。その 作品は、小さい人にルボによって発見された。本句にの何でヒルボの工作を加え でおこう、その場合は、われらにとって重大な対象であり、そしておそらには、M 一のあるでもあるのだ。それについては、カンタルブからはしてもらうことがた くさんある。・・

237

そのよのなはかれていない。一ジにあれていた。他の手に置らないます。われ われはデュリンの動力な特色があられているないが所だいし、多くのラナとな 動むで無視している。非常に対象に関してあるため、カラドリエル主候のしるし を使う以外、またたび最近されることはないたろう。おれわれは、このしるしを デュリンの研究には行る人でおく。)

230.

木わくに貼られたメモにこう書かれていた。わたくしこと、ホビットロのホス、 ログ・サックビルコバキンズは、ホビット庫の吹き扱金において、わたしに切り してくれる機能と大きな人だちの見返りとして、シャーキー運送にからット庫 で報告される開催のバイブ車を必須に提供することを、ここに同様するもので ある。

(信名) ロブ・かッグビルニハギンズ)

この場所のよけらいのものににこの目の中であるだ。人の句の中名がはかって いた。はろはろのももが相談でいている。とそでも可上でもないのは、山戸旅 だ。国際もしだろうかが、もしそうなの。ひとい言をあるでしまったものだされば かいっとはしたのは、そのではで、このは新聞を取られたもの中によっているか。 生きではも出せてことはいもなかったのだ

240

を他にはIIIIをいの日代で、次のようにつるのでいた。ドル・グルデュアの開業 は見いませた。吹引するたらはほどのにもDIPない、ドル・グルデュアの問題は HIM からので、こちらから言うのは不可能だってにある声の皮質からによし かない、毛質にはグモヤ、いのがうようよしている。 せばは明らかには人を含し めるためにあられたものであるか、かしはようのも可にあるし何の。 ロロトに 取るのではを作っておいた。この出りを知れば、明常もの目をたけられるいた 間には「は、という】含いあった。センタリブのもるしにもかいない。

241.

「日本の「はむ川夏の守夜市からび出されるにちがいなけっ

242.

またの目のは10年100年100日のおけて、次のようにはおれていた「ヒル・グルチェアの 場合は、何もかけてからでしてんの名をで、1841日の名になっている。「「特の中 にはオープ制の名と関すては100日というじょうだ。」としているか、何もつろしいは 生命がま人は186で、ほどいたなおをはえる1822で、プマリの日下であること はそらかいない、もしは、1100日の「は200gであるうときな信息のでいる。そう かりは、サルーマンはただでは音をないだろうことが明してきるからだ。」と 毎には、明らかにサンタルプのにるしてあるい。そのできれていた。

243.

このAは、1. プラスにとって、400 なる中心によっていた。かれば、中く回しらっていた。人のエルス、二上ロテルとアムロスのは、2001 に関わせた。ドローフたらか山西の地面でありません。そして、アムロスは何ものエルブの間でありのニムロデルが平るのを持っていましたが、近辺は自の山西の山辺では可知れずとなり、どうどうやってきませんでした。しかしこの様は今でも二ムロデルのでとを忘れてはいます。 当をよくわまして開けば、他の台の中に二ムロデルのを申り回こえてくるのです。

244.

ナスクルがカワミた、しかしキキにたんたわけではないようた。中にこの取る所であれ、私のないます。何様を感しなからモルトールへもったのだろう。か問いか、そっとからような中が明こえた「サウロンのJayotはまもなくわってくる人はのにはすぐまこた。」

245 :

**のかったよく・その男かわっとかさだした。当のたちにおいのことを刊っても またね。あのかれいとうな、かついそうな・・・ もれはまをされまうとしたから かつかうまくいかない まりゃってから、ようやくれきをはし始めた。かれば、 ノジ・アップルドアに加えれまったからはていて、そしてあり回答べいった。ま またのっていたんだ、それでやつらに収まれたかだ。このはではたんだく でも、様にもにもは、みんないまれてしまう!

248.

きみたらは行の同じをAIP上って「前日だ」レコラスやブラブルセアだと呼いる 切らぬように明えるエルブだりできた。へといったでかた。 レコラスかにった - かろうじて、「ウィラールかなをWill」できれますように(

247

エアレンチ・ルの回方は、、PMの中央、中午の、レンのできたかをようスののが 強からせった。ルマリルのたてある。シルマリルは、から一文アレンティルによってきの風にあるではれ、かれはモルゴスとのの、MEMのしてよいるようはエ ラールに関いった。ローラールは、ルマリルを制のいに対してよいるようはエ レシティルは、ほにはいきれた。そもほがこれはガたなると、そのはつる。まず をエアレンディルの風を振ることができる。その「みたりはあまれにものはな め、そのされていたを形に対かってもなお、エルフと人間との欠りを見を描すれる のの・ラ、ウルモに無けられた思うの他にあることがあいる。からはのこつに にその場の水を同たなは、その場のでもで回り目にならる

248

対きたりエルかいった。いられのさい間のだれてもいれて行きなるのでかれ かとの時でもかまわぬではは、強け高にもどるMPSがあいますから、エルロン 作は短いを内めるかよい、また、までエイとを作る性のオフションも、し、じゃ もとういい

「この例けいの色」と、口があります。その入口を入ると、わらわかい可加した他。の例如に出ます。その例ではモリアに関いていますか、チェリンの例か が開発めさせられると、他の関しさらのたちもらを見まします。からわばこれと 他の入口を明めさるを表なかったのです。

「Mのの内はとても anですが、そこにはNUE りゃったたればらしいいり 面にます。水光でそれを望むりはなく、それをおみるりをいつ者はさらばいる。 のです。このようなにないないではない。わらわはそのか年度だれかにでしまい るつもいです。そなだだちか立りないを目むなら、それを担っていくかよいっ まくいのは、Mindの他のの呼ばとなるすをいいりよことができるであろうと。

248.

「ようこそ わたしはりつウェンとのします。」 ましいエルブの中が収入た で 女性をみたちを回り向いていった「わたしはすぐも… します そしていともか らっけるか、これかのとちらかなのです。 みなたりは何をそんなん いにしている のですから 映画したページがたくさんあるが、一幅行た行きはに認み取れる部分があった。 サナタグリムを開放したマリルによって、わたしは一つ

251

一人のエルフが他的に同けて何を放っていた。かれはきなたち参りて、こういった。「わたしばウナセルという者です。ミドル・ナースのエルフの国の中心であるカラス・カラゾンへようこそ。おおた方のお門に不過の引かがきますように。

ウァセルは他(いわりのある例のな人で、きたたちは多くのことを辿り出った。 結局がかれの弓の窓に作ったとき、きんたちはまわをは何めたがれの腕を導め たたえた、ウマセルは彼のられて同じ、他的を解析することにした。

「あなた方は危険などあるまたでいらっしゃいますね。わかしは一味の何子、 ※一点の中の食物としてもっています。もしお物所があれば、みなた方のうちお - 人にはのは参加えてさしまげましょう。このすむものはし世を見けられば

252

(10) (にたまな)() (地が収える。その市内に、例1)ロープを担た人間を整成った ががず(の)にかがいまっている。まるで生きでいるようだ。他のもだけに住い はこのか)を向けると、可はと参照の人り取じったではかせえた。をそのものは がかであったた

253.

スをにようほかれていた。これはカラトリチルのしらして、ボルダールとチワ グリュの場合の重要である。このうち「つね」されの吹いが断。サロロンから声 いはしてこれたビデュリンのためは、カラトリエルか作ったものである。その他 のいるとはただひとつだけ、モリアにあることが傾られている。このしましは、 デュリンのだかなのもにはあのを自止するを選手点の一つとして使われてい も、もう一つのいでは呼ばれるのが特だ。この「つのディテムを使わなければ、デュリンのだは取りできない。」

SEA.

BYTHERISTERS DISTRIBUTION WERE TO BACKET CL D. 年エルマの取扱 から用び出したむこそ きりつせのかまわなた。ミドル・アースの非一般に移体 る板(いで、エルマの面積が)にく、も、この内臓のような生食のたちの下で改され た、フィングンもエクをリオンも、は大なフェアノールは引も、ミドル・アースの エルフによりかから同いのって、バルロジェのかになるのといえばサウロンだ いた。またたちの面のないかられた

255.

ことかじのかに作むドワープー集の中心は、文別のに同た。それたことに、オータ鬼だもは、いつものやし方でこれらの地下を参加っていない。ここには、今まで見たこともないほどだくさんの名はかある。石田の上には、ドワープの報告に 思て、かれたされの研究がきっしりりまれていた。

「これは国じゃない。」 ギュリが与みたちのドルを一つの行うだがけさせた。 いに用のから生ました。デュリッカは「からを介すであるうー」と思んでから、 さればいった。「ある。こんな自然のことは関わませんし、これもわかりません。 分サドニデュムの同じから今な数例っているが思わりにも、このことはよられ でいないのです。これは何らかに即位の一位ですが、しかし、その気は一体とこ にな

255

ある。これはちょっとそれた。いかすことは知にさらされてほみ。ローフはネコ 現代を思い起こさせるものだが、まされもなく。他にはいせルーマンロ界に質せ でかられたものだ。しかし、どうしてこんだめない特に関いがあるのだらう。以 に触れる以上が明かあここにあるのだろうか?

257_

しわくちゃで、間望みのついたドロ州の竹川のしいをていないだ(Mはしてみる) と、かずかに開み取れる。IRがだめられた、作りのひかた一様に、オルサンク。 という言葉が明いてあるか、内方ともあるがいて何さいている。そのでに合かれ たいでもンカルト」というは異か、そのベージでもときわり立っている。

258

無いないはだ。本のように異かれていた「サラドリエルの風光はロスロリエンのほろかいこうのはまで乗している。サラスコスの可能ですら、マではカラドリ まんの思想だり担して、キじゅうだちないはメデルしていまりの力を心をとする ときは、その時間にリラドリエルのおをいうだけでよい。

251

カサトーディムにはよっかたくさんある。そのませのようにのかないの中には、 を割わ、今まではえられたいでも他のののがからる。おそらて、その間のほとん とはオータルともに属すされたたろうか、中でらかなっなドワーフたちのはし 場所ですべて条ましたとははえない。



Interplay

© 1990 INTERPLAY PRODUCTIONS **, INC. PUBLISHED UNDER LICENSE FROM INTERPLAY PRODUCTIONS **, INC.
INTERPLAY PRODUCTIONS IS A REGISTERED TRADEMARK OF INTERPLAY PRODUCTIONS, INC.
THE PROGRAM IS PUBLUSHED WITH THE COOPERATION OF THE TOLKEIN ESTATE AND THEIR PUBLUSHERS, GEORGE ALLEN & UNWIN (PUBLISHERS) LTD.
THE PLOT OF FELLOWSHIP OF THE RING **, THE CHARACTERS OF THE HOBBITS. AND THE OTHER CHARACTERS FROM THE LORD OF THE RINGS
ARE A COPYRIGHT *© GEORGE ALLEN & UNWIN (PUBLISHERS) LTD.
1966.1974.1979.1981. ALL RIGHTS RESERVED. LICENSED IN CONJUNCTION WITH JPI.